

## 平成20年度第3回習志野市社会教育委員会議事録

日 時：平成21年2月19日（木） 午前10時から午前11時30分  
場 所：市庁舎第4分室2階会議室

出席委員：鈴木喜代秋委員長・春名和美副委員長・藤田丈市委員・鮎川由美委員  
山本文男委員・森英樹委員・槇英子委員・鈴木良則委員

欠席委員：鈴木理委員・朝倉征夫委員

出席職員：植松教育長・加藤生涯学習部長・松林生涯学習部次長・早瀬社会教育課長  
山本生涯スポーツ課主査・長谷川青少年課長・黒崎青少年センター所長  
及川生涯学習部主幹・星生涯学習部主幹・桑田菊田公民館長  
山田大久保図書館長

事務局：社会教育課河栗副主査・小澤主事

### 開会

#### 1 委員長挨拶

#### 2 教育長挨拶

#### 3 議事録署名人選出

委員長より、森英樹委員と鈴木良則委員を指名

#### 4 平成20年度第2回習志野市社会教育委員会議事録の承認について

事務局より議事録について説明

承認

#### 5 報告事項

##### (1) 指定管理者の指定について

社会教育課長より資料のとおり報告

##### (2) 事業仕分けの結果に対する対応について

社会教育課長、生涯スポーツ課主査、青少年課長、菊田公民館長、大久保図書館長より資料のとおり報告

##### (3) 袖ヶ浦運動公園等の整備について

生涯学習部次長より資料のとおり報告

(4) 学校支援地域本部事業について  
社会教育課長より資料のとおり報告

(5) 平成21年成人式について  
青少年課長より資料のとおり報告

(6) 第24回習志野市青少年健全育成大会について  
青少年センター所長より資料のとおり報告

(7) 子どもの安全対策について  
青少年センター所長より資料のとおり報告

(8) 全国社会教育研究大会参加報告  
事務局より大会概要について説明  
鮎川委員より参加報告

参加者も共に参加する雰囲気非常に一体感があり、温かみの感じる大会であった。

短期間に、個人で活動続けるのは非常に大変であり、一体となって取り組んでいく必要があると感じた。

柔軟な発想を持つこと、物事を違った側面から見ることで、新たな発見ができると再認識した。

公の施設について、地域と協働して運営していくことも必要である。財政事情が厳しい中、行政だけが、財政負担するのではなく、寄付など地域の協力を求めることも必要だろうと思う。

社会教育委員だけでなく、様々な立場の人が協力していけば、もっと様々なことが実現できる。協力してやっていたら良い。

## 【質疑】

### 委員

放課後児童会について、お聞きします。国の事業で放課後こどもプランというものがあるかと思えます。そのうち、放課後子ども教室推進事業と放課後児童健全育成事業では、対象とされている児童が違うと思えますが、今後の方針について教えてください。

#### 青少年課長

現在、習志野市では、放課後児童健全育成事業を実施し、学童保育の充実に努めています。放課後子ども教室推進事業は、すべての子どもが対象となっています。川崎市や我孫子市など、先進市の事例を研究していますが、財政的理由などから学童保育と一体化している自治体が見受けられます。結果として、学童保育の質が低下するという問題が発生しています。これは、子育て支援を重視する習志野市の方針に反します。子育て支援、特に働いている保護者の支援といった観点から、今後の事業展開について検討していきます。

#### 委員

学校水泳プールの開放に関連して、現在は全て屋外プールとなっていますが、屋内プールを建設する考えはありますか。

#### 生涯スポーツ課主査

現時点では、考えておりません。また、スポーツ振興基本計画等にも記載されておられません。しかし、稼働率アップにも効果的だと思われるので、今後、基本計画等の見直しを実施する際に検討したいと思います。

#### 委員

習志野市内にも立派なプールはありますが、公設のプールは数も少なく、老朽化も進んでいます。水泳は長く続けることができ、生涯スポーツを実践することが可能な種目ですので、ぜひ整備を検討していただきたいと思います。

次に安全対策について、お聞きします。現在、大麻について指導の必要性が高まっています。薬物については、低年齢ほど、薬物の危険性についての認識が低く、早い頃からの指導が重要となっています。地域ぐるみで指導していくことが必要ですので、対策を考えていただきたいと思います。中学・高校の頃からきちんと指導していく必要があると思います。

#### 青少年センター所長

現在、習志野市では、小学校でお酒とたばこに関して、講師の方に指導をお願いしています。中学校では、お酒とたばこに加えて、薬物についても、指導しています。学校教育課の健康教育で担当していますが、防犯パトロール等でも警戒しています。シンナーについては、指導の成果もあって、問題発生の報告が上がっていません。今後、薬物の危険性についても、指導していきたいと思います。

#### 委員

先ほど、成人式を午後を開催するべきとの意見があると報告を受けましたが、その理由を教えてください。

青少年課長

女性の着付けに関して、午前に開催すると、予約がいっぱいで朝早くから準備しなければならないというのが一番の理由です。しかし、開催を午後にした場合、午前中に飲酒し、その後式典に参加する可能性が高く安全性が懸念されます。また、祝い事は午前中に行うという日本の風習があることから、現在は午前に開催しています。今後、アンケートの結果も踏まえ、慎重に検討していきます。

委員

他市の状況はどうなっていますか。

青少年課長

県内では、36市のうち5市で午後を開催しています。

委員

公民館について、地域運営型の公民館を検討するとありました。現在、私は、茜浜ホールを使用しています。設置当初は、料金が高く利用者がいない時間帯もありましたが、現在は、予約でいっぱいです。習志野市民に比べて、他市の利用が多いようです。民間事業者なので、習志野市民に優先的に使用させるということはありません。このように、民間事業者が運営するとサービスが低下するのではないかと心配していました。しかし、最近公の施設のほうが、サービスが悪いように思います。時間についても、柔軟性がなく、使用時間が終了する前に、片付けを終わらせて退出するように言われます。貸してやっているという意識が強いのかもしれません。その点、民間事業者は柔軟です。プラスの面が大きいのではないかと思います。

委員

図書館について、各館の役割分担について、各館に特徴を待たせることは考えていないとのことでした。しかし、図書館の性質を変えていこうという意見があります。従前は、静かで人に迷惑をかけない場所が図書館であると考えられていましたが、現在は、話し合うスペースを確保し、職員が蔵書の解説や紹介など利用者の支援にあたることのできる図書館が求められていると思います。すぐには無理だと思いますが、新しい図書館として、様々な方が利用できる形態が実現できれば、情報発信源や人々が集う、習志野市の中核施設として機能すると思います。新しい発想として検討していただきたいと思います。

大久保図書館長

中央図書館を設置し、その上で、地域館に特徴を持たせたいという希望はありますが、財政的に難しいのが現状です。現在は、スペースの問題で基本的な本しか配置できないのが実情です。今後、検討していきたいと思います。

## 6 協議事項

- (1) 平成21年度第1回習志野市社会教育委員会議の日程について  
平成21年7月2日(木)を予定

## 7 その他

- (1) 市民向け啓発資料の発行について  
「携帯電話等によるトラブルから青少年を守るために」  
青少年課長より発行について報告

閉会

# 議事録署名

---

---